

景観配慮協議申出書

令和2年9月18日

(宛先) 鎌倉市長

住所 [Redacted]

届出者 氏名 本保 淳

電話 [Redacted]

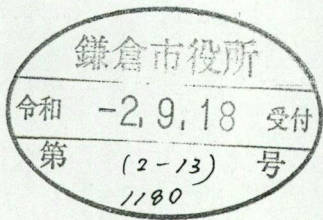
住所 愛知県名古屋市中村区

名駅2-28-3 OAビル7階

代理人 氏名 株式会社DO設計

金子 義彦

電話 052 (571) 5236



【法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。】

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の名称	緑地		
景観地区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住所	愛知県名古屋市中村区名駅2-28-3 OAビル7階	
	氏名	金子 義彦	電話 052 (571) 5236
行為の場所	地名地番	鎌倉市七里ガ浜一丁目1305番3, 1307番80	
	用途地域	第一種低層住居専用	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行為の種類	建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特定地区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行為の期間	着手予定	令和2年11月1日	完了予定 令和3年7月31日

(裏)

建築物の概要	用途	一戸建ての住宅				
	最高の高さ	7.9 ⁷⁹ m	階数	地上 3 階 地下 0 階		
	構造	RC造 一部 木造 (1階: RC造、2・3階: 木造)				
	敷地面積	373.26 m ²				
	建築面積	143.62 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計 143.62 m ²	
	延べ面積	256.99 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計 256.99 m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input type="checkbox"/> その他 m				
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	塗膜防水	色彩	屋根	N6 灰色
		外壁	サイディング 吹付アクリルリシン		外壁	10Y 8/1 うす灰色
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()				
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()				

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例: 日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着眼点	計画地周辺の現況等記入欄
地域的特徴	緑が多く、海からも近く、多様な自然環境が整っている
まち並みの連続性	勾配がある路地を進むにつれて、建物と緑が交互に並んでいる
周辺建物のデザイン	前面道路に対して空地（駐車）スペースを設けてバックさせている 落ち着いた色相、彩度の仕上げ材が使われている
眺望景観	どの家からも海が臨めるように、同じくらいの大サイズの建物が 傾斜地に沿って段々に配置されている
景観資源	建物高さが低く統一されているため、どの場所からでも緑、海、空 などの自然景観が見通せるようになっている

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
配置	◎	道路に圧迫感を与えないよう建物をバックさせ、空地も確保。 建物の両隣には緑をキープし、まち並みの連続性に貢献
形態意匠	◎	道路から見て建物を低く平屋建てに見せることで、大きさ、 形を周囲に馴染ませ、傾斜地×段々である地域性に貢献
色彩	◎	突飛で人工的なカラーリングは避け、自然界にある風土色、 質感を感じる仕上げ材を採用し、落ち着いたまち並みに貢献
建築設備	◎	主な設備機器は敷地内の建物の陰に配置することで、道路から視認 できないようにし、まち並み維持への妨害にならないよう配慮
外構緑化	◎	季節を感じられる桜・紅葉などを敷地内部に、地域性を考慮した植 栽を道路側に採用し、まち並みの連続性に貢献

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
造成		
擁壁		
敷き際・緑化		